

Catalogue No.

20196-3

TABLE
WARE
Fine Table Ware Catalog
2010 Vol.45

Catalog Guide カタログガイド

◎ 商品説明マークのご案内

素材

磁器

和食器を大きく2つに分けると、磁器と陶器になります。ふだん使われている和食器でいちばん多いのが、この磁器です。焼き上げると、素地は白色で吸水性がないのが特徴で、丈夫なので使いやすさも抜群です。

陶器

磁器と陶器との一番の違いは、素地に吸水性があること。素地が粗いため、衝撃に弱いのが特徴である。土や釉薬の種類が豊富で、あたたかみある和食器の楽しみをいっそう引き立ててくれます。

化粧

染付け

磁器・陶器を問わず、素地そのものに呉須(顔料)で絵付けを施し、透明または半透明のうわぐすりをかけ、焼き上げたもの。釉薬の下に絵付けがしてあることから、柄が薄くなったりすることがないので、日常の器として長く使って頂ける焼き物です。

上絵

一度うわぐすりをつけて焼いた陶磁器に、絵を描いて、もう一度焼き上げたもの。代表的なものに赤絵があります。赤・朱を基調とし、緑・青・紫などの顔料で絵付けしたものの総称です。錦絵とも呼ばれ、めでたい日や特別な行事にも使われます。

粉引

化粧掛け、白化粧とも呼ばれ外観を白く見せるために素地の表面に白色の陶土を薄く掛けること。また、その上にうわぐすりをかけて焼き上げたものです。ほんのりとした色合いが女性らしさを感じさせる為、姫粉引とも呼ばれ、心を和ませてくれます。

手描き

熟練された職人が一つ一つ筆を入れて絵柄を仕上げています。器同士の柄が微妙に異なり二つと同じものがない、あえて手間をかけて手作りにこだわって仕上げられています。

形・柄

ゆらぎ

器の外側のふちに、わざと帯状の軽い凹凸をつけることによって、質感を高めています。隠れた部分にもこだわった形状です。

ソギ

器の内側をわざと手荒くそいのような表面に仕上げ、手作りのような高級感を持たせて仕上げた形状です。

石目

器の外側のふちに、わざと小石が付着して取れないような軽い凹凸をつけることによって、質感を高めています。隠れた部分にもデザイン性を追求した形状です。

削り目

乾燥具合を判断し、職人が一つ一つ表面を仕上げています。同じ表面仕上げ具合が二つとなく手間隙がかかっている形状です。

ペコ

器の外側表面にわざとくぼみをつけることによって、手作りの風合いを高めています。また、そのくぼみによって大変持ちやすく使い勝手が良くなっています。デザイン的にも機能的にも完成された形状です。

土あわせ

2枚の上をあわせたかのようなレリーフをつくり、クラフト調に仕上げられています。美濃焼きであってらしくないライトな感覚な形状です。

呉須巻き

熟練された職人が一つ一つ筆を入れて呉須を巻き、均一に仕上げるため、職人の技が光っています。

軽量

独自の技術を使って軽量化を実現。形状を工夫することによって生地に強度を確保いたしました。毎日愛用している茶碗など、より快適に使用してもらうことを追求した形状です。

